

① 学習指導案

| | |
|----------------------|---|
| プログラム | No. 1 「 校区たんけんからいろんなことを発見しよう 」 |
| 単元名 (全 時間) | わたしたちの住んでいるところ |
| 学習のねらい | 新沢小学校の身近な景観を構成するそれぞれの地域の特徴に気づき、普段見慣れた景観に遊びの要素を取り入れた活動を展開し、自分の育った地域の良さをさらに知る。 |
| 学習内容 | 1 校区探検をしよう 2 クイズを通して、校区を知ろう 3 校区のお話を聞こう 4 校区地図をつくろう |
| 参考資料 準備品 実施場所等 | 〈準備物〉 ○デジタルカメラ ○地域の白地図 ○児童用タブレット ○バインダー、筆記用具 ○取材カード 〈実施場所〉 ○教室 ○校区内での協力施設 他 |

学習の流れ

| 時間 | 学習活動 | 教師の指導 | 評価 |
|--------------|--|---|-------------------------------|
| 1～ 3 4 | 校区たんけんをする。 景観の写真及びクイズに出したい写真を撮影する。 校区たんけんクイズ | 児童の安全を最優先する指導を徹底する。 児童の学びあいのスタイルを大切にしながら、必要な時には助言を行う。 わからないこと、調べてみたいことを出し合い、次時の活動意欲につなげる。 | 自分の「知りたい・聴きたい・調べたい」が表現できているか。 |
| 5 ～ 7 | 校区のお話を聞こう ① 歴史に憩う橿原市博物館の学芸員さんの話を聴こう。 | 新沢千塚古墳群がどれだけ全国に自慢できるすごいものなのかについて認識させる。 | 自分のテーマに沿って興味を持って話を聴くことがで |

| | | | |
|--------------|--|--|---|
| 8 ～ 10 | ② 昔の新沢地区と現在の新沢地区の写真からその違い見て地域の古者に話を聴こう ③ 新沢地区の大きなイベントである「ふれあいIN新沢」をはじめてきたきっかけや、道の駅や千塚古墳公園が作られてきた経緯について地域の方にお話を聴く。 | 町の景観が時代とともにどのように変化してきたか知る。 自分たちの町をよくしていこうと 考え、行動されてきた方からの話を聴くことで、郷土を大切に、郷土を誇りに思う気持ちを育てる。また、自分たちが地域の方々によって見守られ、大切にされていることを知り、感謝の気持ちをもてるよう指導する。 | きたか。 聞いたことを自分の言葉で友だちに伝えることができるか。 |
| | 校区地図をつくろう ① 新沢自慢地図をつくろう。 ② 未来の新沢地図をつくろう | 新沢地区にある誇れるもの（自慢できるもの）を地図に表そう。（歴史・自然・イベント・公共施設等）・・・人々の思いを吹き出しとして入れさせる。 自分たちが大人になったとき、こんな新沢地区であってほしいと思うことを形やことばで表現させる。（施設・自然・イベント・歴史の周知）等を地図の中に入れさせる。 | 自分の自慢できることを友だちと話をしながら深めたり広げたりすることができたか。 楽しみながら自分の思いを絵や図、言葉で表現できたか。 |

<留意点>






子どもたちの「やりたい・知りたい・聴きたい」気持ちを大切に、どのようにすればその気持ちを具現化できるかを子どもたちといっしょに思考し、教師自身が子どもたちの力を信じ、楽しみながら取組を進める・

決して正解は一つではないこと、一見幼稚に見えたり突拍子もない発想もあるかもしれないが、そのことを子どもたち同士が聴き合い、学び合うことを大切に、子どもの視点や発想を最大限いかせる取組とする。

② 事業実施報告書詳細

学校名

| 時間数 | 場所 | 概要 | 活動記録（写真） | 対象者の反応 |
|-----|-------------|-------------------------------------|----------|---|
| | 各地域の校区探検を行う | 貸切バスで各地域を回り、それぞれの地域にはどんな顔があるのかを見学した | | 新沢小学校校区は広く、初めていく大字がある児童もいて、校区の様々な所を見学できたことに多くの児童が |

| | | | | |
|---|--------------------------|---|--|--|
| 2 | 歴史に憩う 檀原市博物館 千塚古墳群 | 歴史に憩う檀原市博物館の学芸員さんの話を聴く。また、新沢古墳群を見学して、日本でも有名な古墳群であることを知る。 |  | 学びを感じていた地域に日本でも有名な古墳群があることに子どもたちは驚いた様子であると共に自慢できる場所となった。 |
| 2 | 新沢公民館 | 昔の新沢地区と現在の新沢地区の写真を比べながら新沢公民館館長の松尾さんにお話を聴く。また、新沢地区の大きなイベントである「ふれあいIN新沢」をはじめてきたきっかけや、道の駅や千塚古墳公園が作られてきた経緯について地域の方にお話を聴く。 |   | 市内でも有名になった「ふれあいin新沢」という1年に一度のイベントに向けて新沢地区の方が一致団結して取り組む様子に子どもたちは感動した様子だった。また、地域のために多くの方が協力する姿から、よりいっそう身近に感じていた。 |
| 2 | 北越智の 通学路 | 各地域を見学した後、北越智（新沢小から山を一つ越えた地域）から12年ぶりに2名の1年生が入学してくると知った。 北越智の通学路は、映画「もののけ姫」に出てくるような場所であったため、みんなで北越智と小学校と繋ぐ通学路をボランティア活動として掃除をし、古い竹や木を伐採して見違えるような顔をもつ道に変身させた。 |   | 来年度入学児童のためにみんなで協力して取り組みを進めることで、人気のない寂しい道が劇的に変化したことに、子どもたちはみんなで協力することの素晴らしさと、次年度入学してくる1年生のためにできることをした喜びを感じている様子だった。 |

③ 実施内容について

| |
|--|
| <p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>新沢小学校区はとても広いことから、これまで全ての地域を回ることはできなかった。しかし、今回、貸切バスを使用して、全ての地域を回れたことで、大字の様子を見学することができた。また、地域のみなさんがこれまで大切にしてきたことに触れさせてたいというこちらの思いを新沢公民館長の松尾さんが「ふれあいin新沢」を軸とした話から子どもたちに伝わったことが良かったと考える。地域には千塚古墳群や歴史の憩う博物館という自慢できる施設や場所があることに、子どもたちが地域を好きなることに繋がった。</p> <p>さらには、北越智の通学路の景色を子どもたちの手で変えることに取り組めたことも大きかった。次年度に入学してくる児童のためにボランティア活動を通して、通学路の顔を見違えるような姿にしたことは本学習に取り組んだ大きな成果の一つとなった。</p> <p>(北越智の通学路については、この後、橿原市で舗装して下さる予定となっている)</p> |
| <p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>学習を通して、子どもたちが今以上に「自分たちの地域を誇れること」に目標をおいた。下見として各大字をまわった時に、本学習での「顔」を意識して、その大字がもつ景色や雰囲気児童と共有することにも重きをおいた。</p> <p>地域の方には、もう少し多くの方にお話を聞きたかったが、新型コロナウイルス感染防止の関係から、今回の取り組みが精一杯である面も否めなかった。しかし、北越智の通学路を変えようと子どもたちから声が上がリ、ボランティア活動に取り組めたことについては、大きな収穫となった。</p> |
| <p>(3) 児童の反応</p> <p>本学習での活動を通して、自分たちが住んでいる新沢小学校校区がより身近に感じられるようになったことは確かである。また、今まで何気なく通っていた道や各大字が学習後には家族に説明していることも保護者から聞くこともあった。驚きや感動も大切ではあるが、なにより新沢校区の学習を子どもたちが自らの学びとして、知識・理解を得た。</p> |
| <p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>新沢小学校に赴任して地域をしるためには、地域学習を通して事前の下見や打合せ、子どもたちと共に学習することでの発見は、教師にも多分にある。今回の学習はまさにそのような経験ができたと考えられる。また、教員として校区を知ること子どもたちにする地域の話に広がりができる。3年生担当は自分たちが学びを得たことを他の職員にも伝える場を創った。そのことで、多くの職員が本学習後で学びを得たと言える。</p> |
| <p>(5) 今後の課題と取り組み (児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等)</p> <p>学習は継承させることと系統立てて行うことが大切であることから、次年度の3年生についても、本学習を参考に学習を進めていきたい。また、今回学習をした当該学年については、本学習を元にして、橿原市→奈良県→近畿地方→日本全国→世界と視野を広げていきながら、6年生では歴史へと学習を繋げていきたい。</p> |